



かけはし



第232号 平成29年(2017年) 5月1日(月曜日) 編集発行 宝塚市議会

2・21 議場コンサート ～南里沙クロマチックハーモニカコンサート～を開催(13面)



3月定例会の概要
○平成29年度の各予算を可決



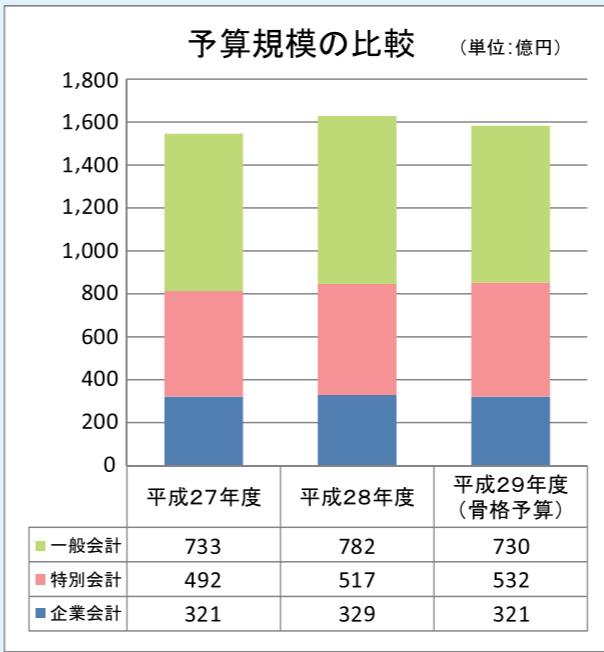
一般会計予算(骨格予算) 特別会計予算15件

を可決

予算の概要

■ **一般会計予算**
平成29年4月に市長選挙が実施されることから、平成29年度一般会計予算については**骨格予算(下段参照)**として提案されました。予算規模は、歳入歳出それぞれ730億円、前年度比で52億円の減額となっています。

歳出の内訳としては、骨格予算のため、前年度と比べて総務費で約13・9億円、公債費で約13億円、土木費で約12・8億円、教育費で約8・1億円の減額となった一方、少子・高齢化の急速な進行などにより社会保障関連経費が急増し、民生費は全体の48・1%を占め、約3千800万円の増額となっています。



特別会計予算

特別会計予算15会計は、通常予算で提案されました。国民健康保険事業費で約5億9千万円、介護保険事業費で約10億5千万円が増額となっており、特別会計全体では約14億8千万円の増額となっています。



予算特別委員会(平成29年2月21日設置)
前列左から浅谷亜紀、井上 聖、◎たぶち静子、○藤岡和枝、三宅浩二
後列左から大川裕之、寺本早苗、大河内茂太、富川晃太郎、細川知子、若江まさし、となき正勝の各委員(◎委員長、○副委員長)

各会計別歳入歳出予算額の概要(単位:千円)

会計別	H29年度	H28年度	増減額	増減比(%)	審議結果
一般会計(A)※	73,000,000	78,200,000	△5,200,000	△6.6	可決(賛成多数)
特別会計(B)	53,209,621	51,733,248	1,476,373	2.9	-
国民健康保険事業費	29,059,300	28,469,200	590,100	2.1	可決(賛成多数)
国民健康保険診療施設費	117,100	121,400	△4,300	△3.5	可決(全員一致)
農業共済事業費	120,500	113,700	6,800	6.0	可決(全員一致)
介護保険事業費	19,857,100	18,807,800	1,049,300	5.6	可決(全員一致)
後期高齢者医療事業費	3,768,400	3,747,300	21,100	0.6	可決(賛成多数)
財産区(9件)	80,289	91,836	△11,547	△12.6	可決(全員一致)
宝塚すみれ墓苑事業費	206,932	382,012	△175,080	△45.8	可決(全員一致)
計(A+B)	126,209,621	129,933,248	△3,723,627	△2.9	-

※平成29年度一般会計予算については、骨格予算として編成されています。

3月定例会の初日に市長から16件の平成29年度予算案が提案されました。予算特別委員会で慎重審査のうえ、3月定例会の最終日(3月21日)の本会議において、すべての予算案が可決されました。

4 本会議で議決

議会としての意思決定である議決を行い、すべての予算案を可決しました。



3 本会議で審議

最終日の本会議で予算特別委員会委員長から審査の報告を受けた後、反対や賛成の立場の議員からそれぞれ討論が行われました。

2 予算特別委員会で審査



1 議案の提案

3月定例会に市長から予算案(議案)16件が提案されました。初日の本会議で予算特別委員会を設置し、議案の審査を付託しました。

委員会審査

委員会を設置

2月21日の本会議で12名の委員で構成する予算特別委員会を設置し、16件の予算議案を付託しました。委員会審査は3月7日(9日の3日間行われ、慎重に審査しました。

宝塚市の財政は大丈夫?

今回、平成29年度一般会計予算案は骨格予算といながらも、予算規模は730億円。前年度の予算規模782億円と比べると、実は6・6%の差しかありません。

見方を変えれば、本市の一般会計予算の大部分は骨格予算なのです。本市は、社会関連経費の急増や老朽化する公共施設の整備保全、耐震化への対応など、今後も引き続き厳しい財政運営となること予測されています。

予算特別委員会では、こうした背景を踏まえ、さまざまな観点から質疑を行い、市の考え方や方向性をたどりました。

主な質疑項目

一般会計

〔総務費〕自治会やコミュニティのあり方、市職員の配置や定員・給与の適正化についてなど
〔民生費〕保育所待機児童の解消、民生児童委員の空白地区について、在宅見相談事業、身体障害者支援センター管理運営事業、医療扶助費についてなど
〔衛生費〕新ごみ処理施設建設基金への積立、健康づくり推進事業についてなど
〔土木費〕道路の維持管理・補修費等、公園施設長寿命化計画作成委託料についてなど

〔消防費〕24hまちかどAEDステーション事業、同報系無線設備整備工事についてなど
〔教育費〕学校給食の公費計化、米飯自炊炊飯実施整備費、子ども支援事業、市立幼稚園の配置・規模の適正化についてなど

〔公債費〕市債の現在高、臨時財政対策債元金償還金についてなど
〔歳入〕不動産売却収入の内容、個人市民税の動向、基金の運用についてなど

特別会計

〔国民健康保険事業費〕減免制度の周知、子ども医療費の助成、国民健康保険事業の経営健全化、一般会計からの補てんについてなど
〔介護保険事業費〕基金の運用、認知症初期集中支援チームの設置についてなど

宝塚すみれ墓苑事業費

今後の貸出数の予測と墓園経営の方向性、整備費の返済状況についてなど

本会議での討論(概要)

一般会計

〔反対〕歳入がこれ以上伸びる要素がない一方で、歳出が増加する要素は多い。基金を取り崩しての予算編成は限界にきている。市の先行きを考えると歳入に見合った予算規模を目指し、適正に縮小していくべき。
〔賛成〕厳しい財政運営の中で、子育て支援や高齢者福祉等、市民の暮らしに関する施策を継続するために努力していることを評価する。

特別会計

〔反対〕国保税の値上げが含まれた予算案であり、低所得者にとっては影響が大きい。国保税を引き下げ、減免制度の拡充及び活用を図ることを求め、原案に反対する。

一般会計とは

市税、国や県からの補助金・交付金・手数料などの収入や市の行う仕事に必要な支出をまとめて行うために設けられた会計で、市のお金の流れの中心となっています。

特別会計とは

国民健康保険事業、介護保険事業のように保険料や保険料などの特定の財源で運営していく事業については、その事業にかかるお金の流れをわかりやすくするために、一般会計とは別の会計を設けることになっています。これを特別会計といいます。

一般財源とは

使い道を特定されず、どのような経費にも使用できる財源。市税や地方譲与税、地方交付税、地方特例交付金などがこの一般財源にあたります。

知ったク 骨格予算とは

義務的経費や経常的経費に加えて、継続的に取り組んでいる事業や市民生活に密着した事業などの市政の骨格的な予算のことです。原則として政策的な判断を必要とする経費は計上されません。

- 骨格予算の主な事業
- ①法令により実施が定められている事業
 - ②国県等の補助金が採択されている事業
 - ③義務的、経常的なものや、継続的な執行が必要な事業
 - ④毎年の行政運営上、年度当初に着手が必要な事業

3月定例会の議案審議から

3月定例会では、市長から提案された議案や、市民の皆さまから提出された請願など計55件について審議しました。

提出された議案は一部を除き、予算特別委員会と3つの常任委員会(総務・文教生活・産業建設)に付託し、慎重に審査しました。

ここでは、各常任委員会で審査された主な議案を報告します。

平成28年度宝塚市一般会計補正予算(第5号)

全員一致
可決

概要 平成28年度の一般会計の歳入歳出予算の総額からそれぞれ12億6,074万4千円を減額し、補正後の歳入歳出予算の総額を803億8,519万4千円とするものです。

(歳出予算の主なもの)

増額…病院事業会計補助金、特別会計国民健康保険事業費繰出金、生活保護事業及び国の補正予算に係る事業

減額…執行額の確定に伴う残額

(歳入予算の主なもの)

増額…国庫支出金：子ども・子育て支援交付金、生活保護費負担金及び学校施設環境改善交付金

繰入金：財政調整基金とりくずし

市債：小・中学校施設整備事業債

減額…配当割交付金、地方消費税交付金、普通交付税、

国庫支出金：臨時福祉給付金給付事業などに係る補助金及び社会資本整備総合交付金

市債：街路整備事業債

そのほか、継続費補正、繰越明許費補正、地方債補正など

主な質疑 特産品等開発及び販路拡大支援事業補助金の効果、きずなの家事業補助金の今後、認定こども園施設整備事業や阪神北広域こども急病センター運営事業分担金の減額理由、花屋敷グラウンド周辺整備事業におけるアクセス道路や都市計画道路荒地西山線整備事業・一般市道新設改良事業における道路の整備状況、蔵人共同浴場耐震補強工事費の減額や高齢者バス・タクシー運賃助成制度などについての質疑がありました。また、財政調整基金のとりくずしを中心に、本市の財政状況に関する市の取り組みについてさまざまな質疑が行われました。

平成28年度宝塚市特別会計 国民健康保険事業費補正予算(第6号)



概要 平成28年度の国民健康保険事業費の歳入歳出予算の総額からそれぞれ652万円を減額し、補正後の歳入歳出予算の総額を295億7,733万円とするものです。

歳出予算では一般被保険者療養給付事業を増額し、特定健康診査等事業を減額、歳入予算では一般会計繰入金を増額し、前期高齢者交付金を減額するものです。

主な質疑 特定健診の受診者が当初見込みより少ないことや、特定健診受診率向上のための取り組みなどについて質疑がありました。

平成28年度宝塚市特別会計 介護保険事業費補正予算(第5号)



概要 平成28年度の介護保険事業費の歳入歳出予算の総額からそれぞれ655万1千円を減額し、補正後の歳入歳出予算の総額を193億4,442万2千円とするものです。

歳出予算では介護認定事業を減額し、歳入予算ではその他一般会計繰入金を減額するものです。

主な質疑 いきいき百歳体操の実施箇所についての考えや市全体での実施状況についてなどの質疑がありました。

国民健康保険税額の増額改定を慎重に判断



改正前との比較	所得割率(%)		均等割額 (円)		平等割額 (円)	
	改正前	改正後	改正前	改正後	改正前	改正後
基礎課税分	6.8	8.4	25,500	31,600	21,600	23,900
後期高齢者支援金等課税分	2.7	2.2	10,300	8,900	7,300	6,200
介護納付金課税分	3.1	2.7	13,700	12,100	7,000	6,200

主な質疑 医療費抑制策、国民健康保険財政の健全化などについて質疑がありました。これ以上の市民負担は限界で国保税の値上げには抗議するとの反対討論や、経営健全化プランに基づいた改定であり税率改定はやむを得ないとの賛成討論がありました。

◆本会議での各議員の賛否(賛成=○、反対=×) ※議長は表決に加わりません。

江原	中野	藤岡	三宅	たぶち	田中	となき	みとみ	山本	伊福	大河内	富川	寺本	石倉	北野	大川	浅谷	伊藤	岩佐	たけした	若江	井上	大島	梶川	北山	細川
○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	※議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

花屋敷グラウンドの夜間利用を可能に

全員一致
可決

■宝塚市立スポーツ施設条例の一部改正

概要 平成29年度から宝塚市立花屋敷グラウンドに夜間照明設備^{やかんしょうめいせつび}を設置することに伴い、夜間照明の利用料金を設定するため、条例の一部を改正しようとするものです。

主な質疑 夜間照明機器の種類や明るさ、近隣自治会等の主な意見や要望についての市の考え方、他市との料金の比較、夜間帯の利用見込み、アクセス道路の整備やグラウンド周辺の道路の外灯などについての質疑がありました。

市立病院の2議案を審議

いずれも

全員一致
可決

■平成29年度宝塚市病院事業会計予算を可決

概要 収益的収支^{しゅうえきてきしゅうし}では収支差引7,715万6千円の黒字で、前年度比7,335万円の増です。資本的収支^{しほんてきしゅうし}では収支差引12億1,540万6千円の不足で、当年度損益勘定留保資金^{そんえきかんじょうりゆうほしきん}及び一時借入金で補てんしました。主な建設改良費として、放射線治療棟建設工事^{ほうしやせんちりょうどう}、給排水設備^{きゅうはいすいせつび}や空調設備の大規模改修工事などの施設改修事業などを予定しています。

主な質疑 委員会では、「予算の妥当性」と「今後の地域医療体制について」の2つの論点から審査が進められ、診療科別の収支を公表できない理由、病院の各部署で経営に責任を持つような体制の確立について、中期事業計画での収支目標と現状に乖離^{かいり}が生じた要因、医療と福祉の連携などの質疑がありました。

■新たに診療科を設置するため条例の一部改正

概要 平成29年4月1日から市立病院の診療科に「病理診断科^{びょうりしんだんか}」を新設するため、条例の一部を改正しようとするものです。

主な質疑 委員会では、論点を「新設科の効果について」とし、審査が進められました。病理診断科の新設によるメリットとして、病理医が常勤化になり、がん等の外科手術では、摘出部分^{てきしゅつぶぶん}を手術中に病理診断することで迅速に摘出範囲が判断でき、患者の身体的な負担軽減にもつながる。また、研修医の指導・教育、院内での検討会で病理医の意見をもとに反省ができたりするなど、病院内にも好影響があることが明らかになりました。その他、現在策定中の新病院改革プランと新しい診療科が独立する整合性や新設される病理診断科の収支面での影響などの質疑がありました。

水道事業会計の資金の今後の推移は

■平成29年度水道事業会計予算を可決

概要 収益的収支の予定額は、事業収益^{じぎょうしゅうえき}47億2,343万2千円、事業費用^{じぎょうひよう}51億2,635万2千円、差し引き4億292万円の赤字です。また、資本的収支の予定額は、資本的収入^{しほんてきしゅうにゅう}37億9,425万7千円、資本的支出^{しほんてきしゅつ}47億4,784万5千円、差し引き9億5,358万8千円の不足で、損益勘定留保資金等で補てんするものです。主な建設改良事業は、阪神水道受水整備事業22億4,800万円、新庁舎建設事業7億461万2千円、管路更新事業2億7千万円などです。

主な質疑 資金の今後の推移について確認したところ、宝塚市水道事業経営戦略でも資金は将来的に一気になくなるものとは考えていないが、赤字状態が短期間に改善する状況にはないため、一定の資金は維持しながらも、年々少しずつ減少していく傾向にあると予測しているとのことでした。その他、経営改善努力として、第2次行財政運営アクションプランで掲げている浄水場業務の一部委託の検討状況についてや、それ以外の経営改善計画について、阪神水道企業団からの受水単価に比べて県営水道からの受水単価が2倍程度高いのに県営水道からの受水量を増やしている理由についてなどの質疑が行われました。



■平成29年度下水道事業会計予算を可決

概要 収益的収支の予定額は、事業収益47億15万2千円、事業費用43億1,171万6千円、差し引き3億8,843万6千円の黒字です。また、資本的収支の予定額は、資本的収入20億9,853万9千円、資本的支出40億9,758万5千円、差し引き19億9,904万6千円の不足で、損益勘定留保資金等で補てんするものです。主な建設改良事業は、公共下水道建設改良事業(雨水整備)5億308万円4千円、公共下水道建設改良事業(汚水整備)1億4,480万円などです。

主な質疑 市内業者育成の観点で建設改良工事の発注方法を考えるよう求めたところ、下水道管の更生工事は経験を重視しているが、市内業者と協議した上で、できるだけ市内業者に配慮できるよう検討を進めてきており、市内業者が受注できる状態になっているとのことでした。その他、平成28年度と比べて年間総処理水量が減少しているのに、流域下水道への流入量は増加していることに対して処理水量と流入量の違いについてや、公園へのマンホールトイレの設置予定について、西谷地域に下水道を整備する可能性についてなどの質疑が行われました。

意見書

3月定例会では3件の意見書案を全員一致で可決し、関係機関へ送付しました。

意見書名	送付先
衆議院小選挙区選出議員の選挙区の区割り改定において市の区域を分割しないことを求める意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣
指定給水装置工事業者制度に更新制の導入を求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣
無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣

請願

3月定例会では、次の請願が提出され、文教生活常任委員会で慎重審査のうえ、本会議で採択されました。

障害者の自立のため、心のケアに関する請願(概要)

宝塚市障害者差別解消に関する条例が平成29年1月1日に施行されたが、障害者は自立することが難しく、一つの仕事を続けることがなかなかできないのが現状。職場でのストレスから辞めてしまうことも多い。障害

者にしかわからないことも多く、障害者同士での理解・カウンセリングもさらに必要。

お互いに平等な立場で話を聞き合い、きめ細かなサポートによって、地域での自立生活を実現する手助けをする、ピアカウンセリングを増やす努力をすることを求める。

(採択・全員一致)



賛否が分かれた議案等(各会派・各議員の賛否 賛成=○ 反対=×

会派名	公明党議員団				日本共産党宝塚市会議員団				自民党議員団			市民ネット宝塚		新風改革の会		維新の会・宝塚議員団		とまの会市民		安全を守る会						
	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名	議員名					
宝塚市市税条例等の一部を改正する条例の制定について	江原和明	中野正	藤岡和枝	三宅浩二	たぶち静子	田中こう	となき正勝	みとみ稔之	富川晃太郎	伊福義治	大河内茂太	山本敬子	寺本早苗	石倉加代子	北野聡子	大川裕之	浅谷重紀	伊藤順一	岩佐将志	たけした正彦	若江まさし	井上聖	大島淡紅子	梶川みさお	北山照昭	細川知子
案件名・結果	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	※議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※(議長の裁決について)過半数議決の場合、議員には賛成・反対の表決権がありますが、議長には表決権がありません。ただし、表決において賛成・反対が同数つまり「可否同数」になった場合、議長には可決か否決かを決定する裁決権が認められています。

その他の賛否が全員一致した議案等

平成28年度宝塚市特別会計国民健康保険診療施設費補正予算(第3号)	可決	
平成28年度宝塚市特別会計農業共済事業費補正予算(第3号)		
平成28年度宝塚市特別会計宝塚すみれ墓苑事業費補正予算(第4号)		
平成28年度宝塚市病院事業会計補正予算(第2号)		
職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例及び宝塚市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市職員の修学部分休業に関する条例の制定について		
宝塚市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市建築事務及び住宅事務手数料条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
宝塚市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について		
財産(宝塚市新庁舎・ひろば整備事業用地)の処分について		
和解することについて		
市道路線の認定について(3件)		
市道路線の認定変更について		
西宮市道路線の認定の承諾について		
宝塚市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意
宝塚市公平委員会の委員選任につき同意を求めることについて		
人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて	適任	

その他結果 ①市民に対して「財政状況の公明正大な情報開示と説明責任を果たすこと」を求める陳情は、総務常任委員会で審査し、全員一致で採択しました。
②山本敬子議員の「人権意識と品位に欠ける発言を繰り返した行為」に対し、その責任の自覚を促すとともに、自ら宝塚市議会議員を辞職するよう勧告決議を求める陳情は、議会運営委員会で審査しましたが、結論を得ずとなりました。



おしえて市議会のこと



皆さん市議会のことってどれくらいご存知ですか。今回は皆さんに興味を持ってもらえるよう、市議会のことについてお知らせします。

市議会ってどこにあるの？

◆市役所の本庁舎（東洋町1-1）の3階にあります。丸下の写真のところです。丸い部分が議場です。最寄りの駅は阪急逆瀬川駅です。

市議会議員は何人いるの？

◆定数は26人ですが、現在24人です。定数は以前は30人でしたが、平成19年の選挙から4人減員し、26人となりました。

市議会議員って何をやるの？

◆選挙で選ばれた市議会議員は、皆さんの代表として宝塚市のことについて議論し、決定しています。お金の使い方（予算）や市のルール（条例）などを決める役割をしています。また、市の運営が正しく行われているかを監視する役割などもあります。市民の皆さんからのご相談も受け付けています。

市議会議員って、市のこと

なら何でも決定するの？

◆市議会では、市長から提案される予算案や条例案などをはじめ、市の重要な事柄についての決定をしています。軽易なことまでは決定していません。なお、決定しているのは個々の市議会議員としてではなく、市議会議員の集合体である市議会として決定しています。市議会議員全員が同じ考えなら当然それで決まりますが、意見が分かれる場合は、多数決により決定することになります。

市議会の本会議や委員会って何？

◆市議会では、議員全員で議論を行う本会議のほか、市の事務内容により分担して議論する常任委員会、市全体に関することなど、議会が必要と認めた場合に設置する特別委員会などがあります。議会の意思決定としては全員参加の本会議での決定となりますが、常に全員で議論することは効率的ではないため、少人数で専門的に、効率よく議論する目的で委員会を設置しています。それ以外にも議会内のことを決定する各種会

議を開催しています。

市議会議員ってみんな同じなの？

◆市議会議員の中から、議会を代表し、本会議の進行をする議長と議長が欠けた時に代理をする副議長を選出していますので、その二人は役割が少し違います。それ以外にも、委員会の委員長、副委員長や会派の代表などの役割をしている議員もいます。

市議会の会派って何？

◆同一の政党であることや同じ考えをもつ議員などが集まってグループを結成しています。それを会派といいますが、会派ごとに控室を設置し、会議についての相談や調査研究などを行っています。

宝塚市議会議長は今まで何人いたの？

◆現在の議長は58代目です。58人かと思ったら、複数回務められている方もおられ、35人でした。

市議会ってどれくらいお金を使っているの？

◆平成29年度の予算で約4億9千万円です。議員報酬や職員の給料のほか、会議の運営や議会の内容を皆さんにお知らせする費用などに使用しています。

市議会議員の報酬は？

◆現在、議長が月額69万3000円、副議長が月額62万2000円、そのほかの議員が月額56万9300円の議員報酬をいただいています。

市議会の情報はどうすればわかるの？

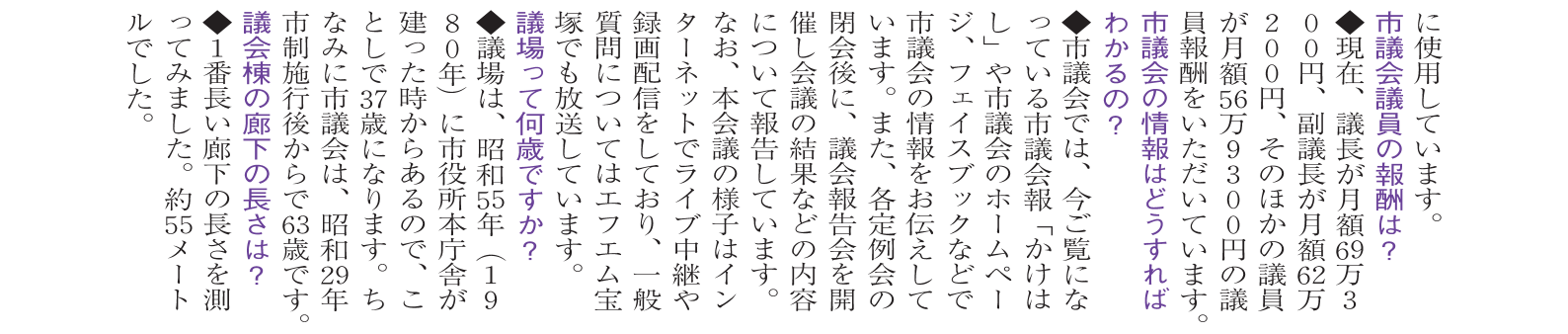
◆市議会では、今ご覧になっている市議会報「かけはし」や市議会のホームページ、フェイスブックなどで市議会の情報をお伝えしています。また、各定例会の閉会後に、議会報告会を開催し会議の結果などの内容について報告しています。なお、本会議の様子はインターネットでライブ中継や録画配信しており、一般質問についてはエフエム宝塚でも放送しています。

議場って何歳ですか？

◆議場は、昭和55年（1980年）に市役所本庁舎が建った時からあるので、現時点で37歳になります。ちなみに市議会は、昭和29年市制施行後から63歳です。

議会棟の廊下の長さは？

◆1番長い廊下の長さを測ってみました。約55メートルでした。



市議会はココです

宝塚市議会ってどんなところ？



市議会議長室・副議長室
議員との協議や職員からの説明などにも活用されています。



議会第1会議室
本会議場の次に大きな会議スペース。議員全員での協議会や説明会、議員研修会などに使用しています。



議会研修室
窓のない長細い会議室。以前は議会図書室として使用していました。



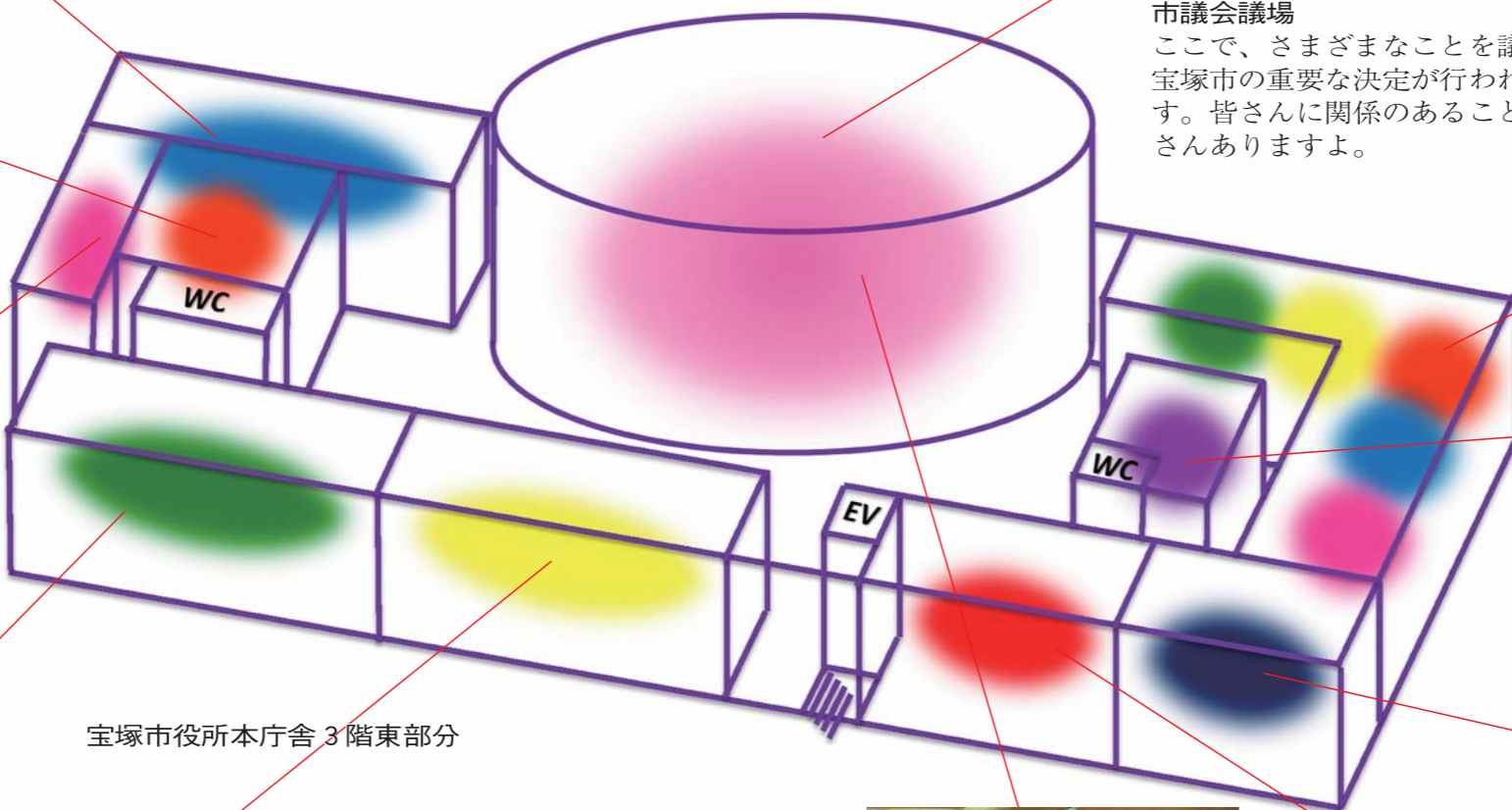
議会事務局
市議会のことはこちらでおたずねください。



第1委員会室
主に常任委員会や特別委員会などを行う会議室。いつも熱い議論が交わされます。予算や決算の特別委員会の際は、本当に満員です。



議長室からの眺め



宝塚市役所本庁舎 3階東部分



本会議を傍聴される皆さまへ。市議会議場の傍聴席に向かうエレベーターおよび階段は、こちらしかありません。ご注意ください。

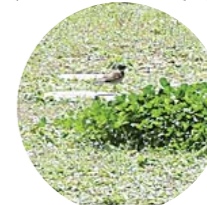
◆こんなところです



市議会議場
ここで、さまざまなことを議論し、宝塚市の重要な決定が行われています。皆さんに関係のあることもたくさんありますよ。



議場の廊下
建物の外壁に合わせて丸くなっています。



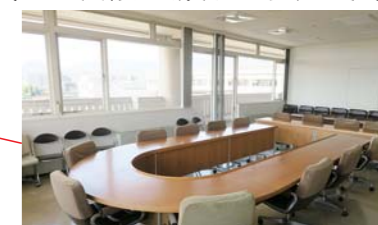
議場の庭
議場の北側には、なんと庭があります。小鳥も遊びに来ます。



会派控室
各会派の控室の扉が並んでいます。



応接室
議員が市民の方などのお客様との面談を行います。職員との面談の場合もあります。



第3委員会室
主に議会内部の会議を行います。議会運営委員会、会派代表者会、議会改革検討委員会、広報広聴委員会などがそれに当たります。



議場傍聴席
本会議を傍聴する方はこちらにおかけください。



傍聴受付箱
傍聴受付箱



傍聴席ロビー
市役所の4階は傍聴席と傍聴席のロビーだけ、エレベーターもここだけ4階のボタンがあります。傍聴される方は、傍聴人受付簿にお名前などをご記入いただき、傍聴受付箱に投函してください。



議会図書室
地方自治法で、議員の調査研究のため議会図書室を設置することとされています。

広報広聴委員会

行政視察報告

宝塚市議会では、議会の調査・研究活動の一環として、他の自治体で取り組まれている先進的な事例を調査し、市への提案につなげています。

今回は、広報広聴委員会が広島市と大分市を視察しましたので、その概要をご紹介します。

2月2日 広島市

議会のインターネット中継について

昨年はオバマ大統領訪問、広島東洋カープの優勝など話題にのぼることが多かった広島市。国際平和文化都市として世界でも一定の影響力を持つ政令指定都市です。

この広島市は議会のインターネット中継の先進市ということで、今回広報広聴委員会でも視察してきました。広島市議会では、本会議のインターネット録画中継を2001年に開始しました。当時、生中継の検討もされたそうですが、機器の性能や通信回線の状況から生中継の導入は見送りまし

た。その後、本会議インターネット生中継は2007年から開始し、2013年からYouTubeも活用しています。



各委員会の中継は、予算特別委員会と決算特別委員会を、2011年から録画中継、生中継ともに始めています。中継機器が整備されている委員会室が1つというところもあり、同時並行して行われることがある常任委員会などについては今のところ音声の録音中継を2012年から行っています。

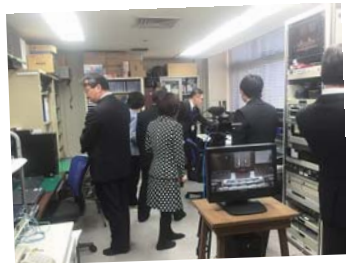
常任委員会の生中継をする政令市も出てきている中、広島市議会としても今後検討していく必要性を感じているとのこと。

また、地元ケーブルテレビ放送で広報番組を放送しており、この番組の制作や編集も市職員で回しているとのこと。番組は30

分枠で主に代表質問、一般質問をピックアップして流しています。

議場のとなりにある編集室では市の職員による自前の撮影と編集が行われています。設備の充実度としては高く、職員もテレビ局のスタッフが参加するような研修に参加するほどの力の入れようです。

この編集室の一角には手話通訳をするスペースが設けられており、昨年2016年6月より手話通訳も実施しています。議会の中継を手話通訳することによって技能として高度であることから手話通訳者の確保は大変なようです。昨年4月より「障害者差別解消法」が施行され、宝塚市でも、障がい者への合理的配慮が義務付けられました。実施に伴う負担が過重でない範囲で検討は必要かもしれません。



編集設備の説明を受ける

今、宝塚市議会でも委員会のインターネット中継を検討していますが、広島市から学び、より開かれた宝塚市議会にしていきます。(若江)

2月3日 大分市

市民が参加する議会（若年層との意見交換を中心に）について

大分市議会は、2008年、中核市・政令市では全国で初めて議会基本条例を制定しました。翌年には条例に基づき、市民に開かれた議会として委員会における懇談会等の開催や十数か所での市民意見交換会を行い、毎年計400人以上の参加があります。しかし、70%は60代以上ということ、若い方々の政治参加意識を喚起するために、2011年度から高校・専門学校・大学数校での若年層との意見交換が始まりました。

議員が各校に向き、グループに分かれて学生からの意見に議員が応える形で行われていますが、特に昨年度は「18歳選挙権」のテーマを設けました。終了後のアンケートでは、参加者の66%が政治に対する意識が変わったと答え、今後も若年層の意見を聴いてほしいと期待を寄せています。

今年度は「私が住みたいまちづくり」をテーマに、市議会主催で高校生議会も開催、各校1名の発言者が一般質問を行い、終了後、各常任委員会に分かれ、高校生議員と市議会議員が意見交換を行いました。



大分市議会の若年層との意見交換の様子

大分市議会は議員が積極的に動き、ティッシュ付チラシの配布だけでなく、意見交換会告知ポスターもきめ細かく貼っています。また視察の対応も議員が行いますが、今回は選挙直前だったので事務局からの説明となりました。

また、議会の政策形成のための政策研究会も活発で、党派・会派を超えて「議会として」条例案等をまとめ、子ども条例と市民のこころ、子どものちを守る条例を制定、また災害対策についての対応策も市長提言しています。

「開かれた議会」のうち宝塚市議会と大きく違うところは、

- ・市民への活動報告は条例にも記述がある議会報告会はあえて行わず、広報誌発行にとどめている
- ・政策研究会を頻繁に開催し、2年に1つの条例づくりを目指している
- ・若年層の意見を吸い上げ、政治参加意識の向上のため、若年層との意見交換と議会主催の高校生議会を開催している
- ・意見交換会では出た意見は各委員会等で検討し、市担当部局に回答するなどしてから、議会として対応している
- ・意見交換会・若年層との意見交換を動画配信している

今後、広報広聴委員会でも検討して行きます。(大島)



議場内に美しい音色が響きました

2月21日、平成29年第1回市議会定例会初日、本会議開会に先立ち議場コンサートを開催しました。



を披露していただきました。当日は、市議会議員、市長以下市の幹部職員、傍聴者が多く見守る中、素晴らしい演奏を聴かせていただきました。

一本のハーモニカで奏でられるものとは思えないほど表現力豊かで、優しく透き通ったメロディーが議場内に響き渡り、その場には誰もが感動を覚えたことと思います。この誌面では、その素晴らしい音色をお伝えできないのが少し残念です。



まちを元気にする方法を市民と考える

（議会講演会を開催）

市議会は1月24日、「街を愉しみ元気を生む9つの視点」近隣市の事例から「と題して議場で議会講演会を開催しました。

議会講演会は、市民、市議会議員、市職員がともに学び、今後のまちづくりに役立てていこうという趣旨で開いているものです。今回は、尼崎市を中心に、まちの賑わい創出や活性化に取り組んでおられる尼崎南部再生研究室の若狭健作氏をお招きしました。当日

は多くの市民の方にもご参加いただき、近隣市の事例を参考にしながら、宝塚市というまちを元気にする方法を考えました。

まちづくりプランナーである講師自身の多彩な活動実績が写真で紹介され、まちを面白がる視点を大切にしながら、地域の魅力や都市の問題を考えるための、具体的なアイデアが多数盛り込まれた講演でした。

その中では、次のような事例が紹介されました。

- 隠れた日本一、世界一を見つけて出す「メイドインアマガサキ」
- 工場地帯の魅力を再発見する「尼崎運河クルージング」「全国工場夜景サミット」
- 市民の隠れた才能を掘り起こし皆で学校ごっこを楽しむ「みんなのサマーセミナー」
- 市民参加型の運営でライブラリーオブザイヤー大賞を受賞した伊丹市立図書館「ことば蔵」
- まちの未来を考えるカードゲーム「アマガサキトウザフューチャー」



いずれも、まちの魅力がうまく引き出し、人と人の関係性をつくりながら、皆でまちを盛り上げていこうという試みであり、本市のまちづくりにも大変参考になるものでした。

会議を傍聴しませんか

宝塚市議会の本会議や委員会是一般に公開されており、どなたでも傍聴いただけます。

次の6月定例会の日程は16面のとおりです。ぜひ傍聴にお越しください。

■本会議場

本会議を傍聴したい場合は、市庁舎4階に傍聴人受付簿があります。受付簿に住所、氏名（団体で傍聴される場合は、団体名、代表者の住所・氏名、人数）をご記入いただき、受付箱へ投函の上、傍聴席へお入りください。傍聴席は84席（内、車いす席2席、磁気ループ席26席）あり、介助犬の同伴も可能です。

■委員会室

委員会を傍聴したい場合

は、市庁舎3階の議会事務局が受付窓口です。受付簿に住所、氏名（団体で傍聴される場合は、団体名、代表者の住所・氏名、人数）、傍聴希望事項をご記入ください。傍聴席は10席程度です。満席の場合は、音声情報のみを提供している別室にご案内することがあります。

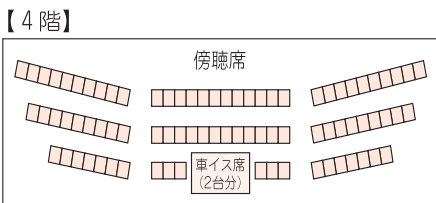
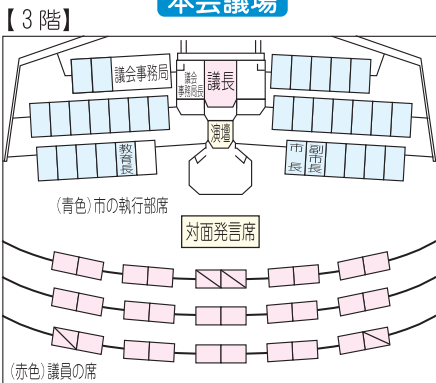
■手話通訳・要約筆記

手話通訳者や要約筆記者の介助を希望される場合は、「宝塚市（手話通訳者・要約筆記者）派遣申込書」を障害福祉課へFAXしていただくか、もしくは窓口へお申し出ください。

【障害福祉課】

FAX 0797-7218086
TEL 0797-7712077

本会議場



第5回意見交換会を開催

2月5日に5回目となる意見交換会を開催しました。

テーマ

第1部 「危機管理について」「観光行政について」
第2部 「市政のあり方について」
第3部 「障がい者施策について」

※第1部の「観光行政について」は、当初、第2部の「市政のあり方について」でご応募いただきましたが、発言者の許しを得て、第1部で意見交換を行っていただきました。また、第3部で「教育について」をテーマに意見交換を行う予定でしたが、応募がなかったため中止しています。

※報告は、当日参加した議員が交代で記録した内容を元に作成しています。



第1部



第2部

傍聴者 66人
議員 26人

非常時用の水道と水源問題として、市独自・主体的な体制の確保を

市民 阪神水道企業団からの受水は、琵琶湖・淀川を水源としており、原発の影響や災害発生時は寸断の可能性もある。淀川は過去には取水制限もある。自己水源を手放さないでほしい。
議員 自己水源確保は大切だが、自己水源だけでは対応は困難。武庫川水系、猪名川水系以外からの取水が必要であり、将来的に3つの水源から均等に取水する計画には説得力がある。

第1部

観光文化都市の創生を目指す

市民 近隣で文化会館がないのは宝塚市だけ。文化会館があれば、テレビ番組の収録や歌手のコンサートもでき、市民のモチベーションも上がる。中央公民館より先に文化会館を建築すべきだったのでは。

議員 市は文化会館を建築しない方針で市民ホール予定地も売却。要望は多いが西宮市に県立芸術文化センターもある。規模は違うが、建設する文化芸術施設をどう活用するかが第一。

市民 水道業務の民間委託が進められようとしているが、職員が設備操作に慣れて有事に対応できるのか。災害対策・緊急体制・マンパワーの確保は、水道ビジョン2025に書かれていないのではないのか。

議員 阪神淡路大震災時の給水経験もある。市は責任を持って水を確保すべき。議員 民間委託ありきではないが、インフラをどう守るか。水道料金が高いと言われるが、長らく値上げをしておらず、水道事業は財政的に厳しい状態だ。

第2部

市民 武庫川と山の景観は自慢できるもの。武庫川両岸に桜、紅葉、銀杏の回廊を創ってはどうか。関西の花見どころになるのでは。

議員 1万人のライندگانなども活性化に役立つが、何に力を入れるべきか。議員 県がふるさと桜づくり巡回事業で、苗木の提供をしているが、増水の際の障害物となるため桜の植樹は認められないとのこと。

議員 桜の回廊は素晴らしいが、土手がないので難しい。それにこだわらなければ何か創れそう。

議会の傍聴者が少ない。あらゆる選挙で投票率が低い。これどうする

市民 議会に対する市民の姿勢の問題で、市政に関心があれば傍聴に行くだろう。傍聴に行こうと声をかけても、「ネットで見ると」「FMで聞く」と返ってくる。生で聞くのと家で聞くのとでは問題意識が違ってくる。改善策を考えてほしい。

第3部

議員 傍聴者が少ないことは議会としても危惧しており議論している。FM放送等は傍聴に來られない人のために継続したい。

議員 議会も市財政の深刻さは危機感を持っており、行財政改革調査特別委員会で調査している。市は本日の課題を市民に伝えていない。問題点を明らかにし、いろんな形で報告する。議員 宝塚ガーデンフィールズ跡地やNTN跡地の活用は、やめるとは言えないが、立ち止まることを考えてもよいかもしれない。

市民 まちづくりにお金を使っていない。広報ではいいことばかりだが、市民の安全を考えていない。



視覚障がい者の白杖の所持率。20代から50代の就業率が低下している。白杖の必要性を認識しておらず断つたが、後になって必要になる場合がある。窓口で必要性を説明し全員に配るべきだ。また、支給の白杖は短い。脇までの正しい長さが必要で、石づき部分が減るので費用がかさむ。補助できないか。

議員 白杖を全員持つべきとの意見と理解する。脇の下までの長さであること、学校での合理的配慮と、福祉と学校など本人を取り巻く支援者との連携について他市の状況も踏まえて宝塚市の現状について

市民 子ども発達支援センターについて、相談支援員の増員と質の向上、個別の支援計画の手引きを作成してほしい。発達の遅れがあるとかわかった時点で、早急に支援につなぐシステムを作してほしい。

議員 個人個人に沿った計画が必要だと感じる。市民 自閉症、発達障がい児には工夫が必要。診断も必要。教育と福祉の連携が必要。学校現場でも子どもに寄り添う手だてを考えている。職員も教職員もしっかりと勉強して進めていく。一緒に考えていく姿勢をもってほしい。

障害福祉課は日常生活用具などの給付に対して視障協

市民 視覚障がい者に対し、日常生活用具として、点字器、拡大読書器等が支給されているが、対象は2級以上である。昨年から地デジラジオが3級以上に支給されるようになったが、支給までに1年かかった。視覚障がい者には情報が一番大事である。音声パソコンを支給してほしい。市はパソコン教室を開催しているが、せっかく受講しても自宅に音声パソコンが無

ければ意味がない。音声パソコンの要望は5、6年もかかっている。

また、今後は就労にも力を入れてほしい。議員 宝塚市障害者差別解消に関する条例が制定され、今まで以上に多様な状況に応じた支援の土壌ができた。音声パソコンについても必要な方には支給を進めていきたい。

就労等の相談については一律にはいかないが、他市の状況も見ながらしっかりと受け止めたい。

市民 自宅にある音声パソコンが古く就業支援講習でのパソコン講習の予習、復習ができず2年間就職が決まっていない人がいる。無料で音声パソコンを貸し出しできないか。

第6回意見交換会 の市民発言者を募集します。

◆開催日時とテーマ
平成29年8月27日(日)
第1部 10時~11時45分
第2部 12時30分~14時15分
第3部 14時30分~16時15分

◆開催場所
男女共同参画センター
学習交流室1 A・B

◆応募資格
市内在住・在勤または在学18歳以上の方

◆募集人数
各部ごとに3名程度

◆申込方法
発言申込書に必要事項を記入の上、郵送、FAX、

電子メールまたはご持参によりお申し込みください。申込書は、市議会事務局サービスセンター、サービスステーション等でお渡ししています。またホームページからダウンロードできます。FAXまたは郵送でお届けすることも可能です。

◆申込期限
平成29年8月4日(金) 一時保育が必要な方は8月14日までにお申し込みください。

◆お問い合わせ・申し込み先
議会事務局議事調査課 (市庁舎3階)
TEL 0797-7712168
FAX 0797-7416902
E-Mail m-takarazuka0178@city.takarazuka.lg.jp



第3部

議会報告会

皆さまのご参加をお待ちしております

7月22日(土)

午前10時～正午(開場：午前9時30分)

6月定例会の報告

無料
申込不要



- ※一時保育を実施しています。
- 申し込みは7/14(金)まで。
- ※手話通訳、要約筆記は7/7(金)までにご連絡ください。

問い合わせ 議会事務局 議事調査課
TEL 0797-77-2168 FAX 0797-74-6902
E-Mail m-takarazuka0178@city.takarazuka.lg.jp

西公民館
3階 セミナー室
宝塚市小林2丁目7-30
西公民館は阪急小林駅から徒歩3分

議員の辞職

伊藤順一議員及び山本敬子議員は、宝塚市長選挙への立候補により、公職選挙法の規定に基づき、平成29年4月9日付で議員辞職となりました。

手話通訳、要約筆記、一時保育が必要な方は、8月14日までにご連絡ください。また、傍聴は事前申し込み不要です。阪急宝塚駅横、ソリオ2の4階、男女共同参画センターでお待ちしています。



平成29年8月27日(日)に第6回意見交換会を開催します。市議会議員と意見交換をする市民発言者を募集します。是非ご応募ください。詳細は本誌15面(この裏側)に掲載しています。

市議会の情報

- ◆インターネット
市議会ホームページでは、会議日程や議案審査の結果、本会議映像(インターネット中継・録画配信)等をご覧いただけます。
- ◆Facebook
- ◆FM宝塚 83.5MHz
毎週2回(月・木)11時55分から5分間、市議会の話題をお届けしています。

宝塚市議会 で検索

7月			6月								5月												
7日	6日	5日	30日	29日	28日	27日	16日	15日	13日	12日	9日	8日	7日	6日	5日	1日	31日	30日	29日	19日	18日	16日	
金	木	水	金	木	水	火	金	木	火	月	金	木	水	火	月	木	水	火	月	木	水	火	木
本会議(予備日)	本会議	議会運営委員会		一般質問		議会運営委員会	予算特別委員会(総括)	予算特別委員会	常任委員会②(予備日)		常任委員会②		常任委員会①	常任委員協議会		代表質問(予備日)		代表質問	議会運営委員会	本会議(施政方針)	議会運営委員会	本会議	議会運営委員会

6月定例会の日程

今回の表紙写真は宝塚市出身のハーモニカ奏者・南里沙さんです。議会と市民の距離を縮めるために始めた議場コンサートも回を重ねて定着して参りました。議会報告会や本会議のネット中継に引き続き、現在は委員会のネット中継を実現するべく取り組んでいます。(大河内)

かけはしの誌面や議会報告会、意見交換会の充実に向け議論を重ねてきました。また、委員会のインターネット中継や若年層との意見交換などについて先進市へも視察に行き、そこで得た知見を活かし、市民に身近な議会を目指して取り組んでまいります。(みとみ)



編集後記

議会報「かけはし」は、すべての世帯と事業所のポストに宅配でお届けしています。発行日を過ぎて届かない場合は、下記のフリーダイヤルへご連絡ください。

宝塚市議会事務局
〒665-8665
宝塚市東洋町1番1号
TEL 0797-77-2168(直通)
FAX 0797-74-6902

ジャパンメッセンジャーサービス(株)
フリーダイヤル
0120-240-324
(9時～19時まで)

※議会報かけはしは年4回発行しています。次号は、平成29年8月1日発行予定です。



このメンバーで一年間議会報かけはしを編集しました！
広報広聴委員会委員(◎委員長○副委員長)
左から○大川裕之、みとみ稔之、◎三宅浩二、寺本早苗、細川知子、大河内茂太、大島淡紅子、若江まさし